

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/01/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 3カ月ぶり高値、北半球の寒波で買いが膨らむ

NY原油先物相場は、1バレル=76ドル台中盤まで値上がりし、昨年10月8日以来の高値を更新する展開になった。北半球全体で厳しい寒波が観測されたことで、短期需給の引き締まりが意識された。期近限月を中心にリスクプレミアムを加算する動きが優勢になり、75ドルの節目を完全に上抜いている。バイデン米政権が週末を前に対ロシア制裁を強化したこともポジティブ。ロシア石油企業2社とその子会社、「影の船団」に対する追加制裁が発表されている。

日本を含む北半球全体で、例年よりも厳しい寒波が報告されている。米国では非常事態宣言が出された州もあり、暖房用エネルギー需要の拡大期待が強くなった。天然ガス相場なども底固さを見せている。また、供給リスクの高まりも警戒された。寒波で内陸部の油田地帯では凍結が進む見通しであり、石油リグやパイプラインなどの操業にも影響が生じるリスクが警戒された。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (1月3日時点) は、原油が前週比96万バレル減、ガソリン633万バレル増、石油精製品が607万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

## 【展望】

### 北半球の寒波が続くと底固い、IEAとOPEC月報が下落リスクに

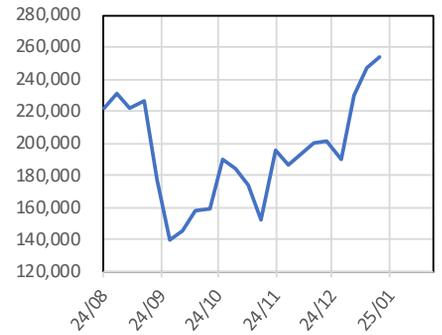
年初から売買テーマが目まぐるしく入れ替わっているが、北半球の寒波に対する注目度が高まっている。このまま平年よりも厳しい寒波が続くと、需要拡大と供給減少リスクの織り込みで、期近限月主導の上昇が続きやすい。特に凍結被害による生産障害も報告されると、短期需給のタイト化リスクが強まり、昨年10月高値78.46ドルを意識した展開になろう。

一方で、寒波の影響で国際原油需給の供給過剰見通しが変わる訳ではない。あくまでも短期的な需給引き締め圧力が想定されるのみであり、基調としては需給緩和を背景とした値下がり傾向は続く見通し。このため寒波が一服すると、戻り売りで70ドル台前半での取引に回帰しよう。北半球の気温動向・見通しに依存する展開が想定される。

また、1月15日には国際エネルギー機関（IEA）と石油輸出国機構（OPEC）が今年最初の月報を公表する。前月に続いて需給緩和見通しが示される可能性が高く、ここで過熱感が意識されるとマクロ需給要因に基づく値下がり圧力が再開される可能性がある。

米石油在庫統計にも注意が必要。最近の傾向としては原油在庫の減少・石油製品在庫の増加が同時進行しているが、全体としては製品在庫増加圧力の方が目立つ状況にある。ただし、WTI原油先物の受け渡し場所であるオクラホマ州クッシング地区の原油在庫は2,000万バレル水準まで減少しており、操業可能な限界ラインに近いとみられている。同在庫の2,000万バレル割れがみられると、期近限月を中心に買いが膨らむ可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



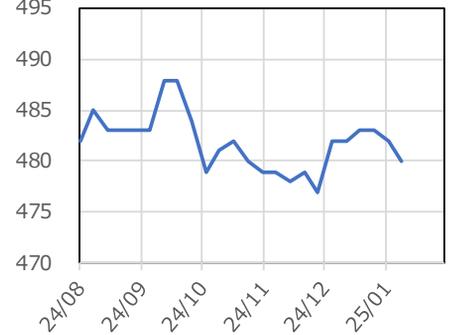
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

